

教育研究評議会議事録（第226回）

日 時：令和5年 5月25日（木） 14時57分～16時30分

場 所：事務局第一会議室及びオンライン会議

出席者：小川、藤代、喜多、小藤田、山本、松岡、海妻、宮川、林、横山、境野、八代、
伊藤、木村（賢）、田代、村上、南、木村（直）、宮本、織田、松林、清水、天木、
柴垣、萩原、澤井、木崎、小出

欠席者：水野、小林、成田

配付資料

- 議題1 令和7年度理系学部改組に伴う教員の配置換及び学生定員の移行について
- 議題2 教養教育改革案について
- 議題3 岩手大学安全保障輸出管理規則の改正について
- 議題4 名誉教授の称号授与について
- 報告1 入試データ（個別前期）の解析について
- 報告2 学長・副学長会議報告（第261回～第262回）
- 報告3 危機管理委員会報告（第106回～第107回）
- 報告4 令和5年度入試委員会（第1回）記録（案）

議事に先立ち、前回議事録について、原案のとおり議事録を確定することとした。

議 題

1. 令和7年度理系学部改組に伴う教員の配置換及び学生定員の移行について

学長から、令和7年度理系学部改組に伴う教員の配置換及び学生定員の移行について諮る旨が述べられ、次いで、藤代理事から、資料に基づき、令和7年度に予定している理工学部、農学部の改組並びに獣医学部設置に伴う、令和7年4月1日付の教員の配置換及び学生定員の移行について説明があった。

審議の結果、原案のとおり了承した。

2. 教養教育改革案について

学長から、教養教育改革案について諮る旨が述べられ、次いで、喜多理事から、資料に基づき、第4期中期目標・中期計画の達成に向けて教務委員会にて検討を行ってきた経緯、今回の改革案における5つのポイント（1. 科目区分の再設定、2. 実践知科目の再構築、3. 学問知科目における授業科目の再編、4. 責任体制、5. 全学体制の実質化）及び教養教育科目の卒業要件単位数を全学部28単位とする教養教育改革案について説明があった。

審議において種々質疑応答が行われ、学長から、岩手大学の卒業生が身に付けている教養を全学で同じものとしたいこと、そしてその教育を特定の学部が担うのではなく、岩手大学の全学部全教員が関わるものであることを再度認識してほしいことが述べられた。また、今後は全学部の学生が身に付けるべき教養教育とするための授業内容、カリキュラム構成についての具体的な議論を進めてほしいことが述べられた。

審議の結果、原案のとおり了承した。

3. 岩手大学安全保障輸出管理規則の改正について

及川研究・地域連携課長から、資料に基づき、岩手大学安全保障輸出管理規則の改正について、事務組織改編並びに外為法省令通達の一部改正及び経済産業省からの指導等に基づく改正である旨の説明があった。また、この改正に伴い必要となる、安全保障輸出管理に関する本学内での手続きとして、外為法省令通達に基づく特定類型該当性の確認が必要となる対象者とその際の確認事項、外為法等の規制に基づく国外への貨物の輸出や技術・知見の提供に関する事前チェックリストの提出が必要となる事例とその確認方法について説明があった。

審議の結果、原案のとおり了承した。

4. 名誉教授の称号の授与について

学長から、名誉教授の称号の授与について諮る旨が述べられ、次いで、横山学部長から、資料に基づき、候補者の功績等の説明があり、審議の結果、候補者1名に名誉教授の称号を授与することを了承した。

なお、学長から、称号授与式は、開学記念行事（6月3日（土）午後開催予定）の午前中に第一会議室で行う予定である旨の付言があった。

5. その他

なし

報 告

1. 入試データ（個別前期）の解析について

藤代理事から、資料に基づき、平成28年度改組後の個別前期入試のデータ解析結果について報告があり、各学部にて解析結果を入試制度改革だけではなく、今後の学部改組やプログラム改編等でのカリキュラム検討の際にも活用してほしいことが述べられた。

2. 学長・副学長会議報告について

3. 危機管理委員会報告について

4. 入試委員会報告について

資料のとおり。

5. その他

なし

最後に、学長から、次回の教育研究評議会を、定例の6月29日（木）15時から開催することが述べられた。